

# 事例 11: 日常管理の徹底と建物の断熱化を推進

## 掛川市: 松浦梱包輸送株式会社

分野: 事務所  
業種: 運送業

従業員数: 400 名

### 対策の着眼点

平成 23 年の夏に、社長を本部長とする『節電対策推進本部』を設置し 15%の節電目標を掲げて、社内の節電を推進した結果、本社で 21%、全社でも 13%の節電実績となった。平成 24 年度も、継続して節電に取り組んでいる。

### 具体的な取組内容

#### 1 節電の推進方法

#### <現場管理を徹底>

- 各所属のチームリーダーが、週 1 回節電の日常管理チェックシート（以下項目）に基づき実施状況を点検。

#### ～～日常管理チェック項目～～

- 作業場・事務所における不要照明の消灯
- 作業場・事務所における昼休み、退社時の照明の消灯
- 事務所におけるエアコンの設定温度、室温、稼働状況の監視
- 待機電力の削減
  - 食堂、テレビのコンセントを抜く
  - 未使用時のパソコン電源 OFF
  - 便座ヒーター、ウォシュレットのコンセントを抜く
  - 未使用時シュレッダーを電源 OFF

- 特に、**空調の節電対策としては**、各部署の節電責任者・管理担当者が、1 日 3 回室温と空調の稼働状況をチェックすることで、室温 28 度を徹底している。
- 上記の 2 つの点検結果は、1 か月分をまとめて本社に提出し評価を受ける。

#### 2 自動販売機の撤去・省エネ化

#### <経費を掛けずに自販機を省エネ化>

- 自動販売機 15 台のうち 5 台を撤去し、6 台を省エネ型に変更
- 省エネ型への変更は、メーカーに依頼
- 自動販売機の減少分は、ウォーターサーバーを夏季限定で設置することで対応

従来型自動販売機 (11 台)  
<1,400kW × 11 台 = 15,400kW>



廃止 (5 台)  
<1,400kW × 5 台 = 7,000kWh>  
省エネ化 (6 台)  
<600kW × 6 台 = 3,600kW>

<年間 11,800kW 削減>

### 3 窓の断熱化

#### <全ての窓を遮熱化>

- ・ 本社の全ての窓に、遮熱フィルム（金網窓には遮熱塗料を塗布）を貼付することで、断熱性能を上げて空調負荷を軽減。



<全ての窓を断熱化>



<遮熱フィルムを貼付>



<金網窓には遮熱剤塗布>

### 4 屋根の断熱化

#### <屋上からの熱を遮断>

- ・ 直射日光の当る屋根と最上階の天井の間に断熱材（グラスウール）を施工し、屋上からの熱侵入を防ぐことで、空調負荷を軽減。



<屋上>



<最上階の天井>

### 5 省エネ型照明の導入

#### <点灯時間の長い照明を高効率化>

- ・ 事務所の照明を Hf 型照明に変更。
- ・ 本社駐車場、屋外荷捌き場の水銀灯を LED 照明に変更。



<事務所照明>

## 導入経費と成果

### 費用

- ・国土交通省の補助金（20%の省エネ化が条件）を活用し総事業費の3分の1の補助を受けることで、経費削減。

内 容	施行規模	費 用
1 自動販売機の撤去・省エネ化	5台撤去、6台省エネ	0円
2 遮熱フィルム施工（窓）	約60㎡	約112万円
3 グラスウール施工（天井）	120㎡	約210万円
4 Hf型照明導入	15台	約21万円

### 効果

- ・平成23年度の総使用電力量を、平成22年度と比較して本社で21%、全社で13%削減
- ・本社のデマンド値を130kWから110kWに変更  
⇒年間23万円の削減

### 節電のポイント

#### <日常管理の徹底が節電成功の鍵>

- ・各部署に節電担当者を設置することで**日常管理を徹底**したこと、また、各部署の管理状況をしっかり**評価まで行った**ことが、大きな節電実績に繋がったと考えられる。